

## シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
国語	古典B	普通科・3学年（文系）	3単位
教科書	[主たる教材] 古典B 古文編・漢文編（数研出版）		
副教材等	[副教材] 新国語便覧（第一学習社） ベネッセ全訳古語辞典（ベネッセ） 基礎から学ぶ解析古典文法（桐原書店） 完全頻度順入試対策ベストセレクション古文単語325（尚文出版） 必携明説漢文（尚文出版） 必携～句法と語彙の定着を図る～新明説漢文ノート（尚文出版）		

## 1 科目の目標

優れた古典作品に触れることにより、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。また、大学入試等に対応できる読解力・記述力を育成していく。

## 2 科目の内容

- 古典作品の内容を、語句・文法・文の構造を的確にとらえながら理解させる。
- 古典を読む力を進んで高め、入試に対応した実践力を養成する。
- 作品に描かれた人間像や思想に触れ、自分自身の将来を考えていく姿勢を持たせる。

## 3 授業計画

月	内容	配当時間	指導上の留意点
4月	古文：和歌「古今和歌集仮名序、古今和歌集より和歌二首」 漢文：逸話「知音（呂氏春秋）」 古文：日記「父の離京（蜻蛉日記）」	12	・敬語に注意しながら、主語を確認させる。 ・表現技巧など、和歌についての知識を理解させる。 ・逸話を読み、人物像を理解させる。 ・日記文に表現された作者の心情を読み取る。
5月	○1学期中間考査		
5月	漢文：小説「売鬼（搜神記）」	18	・句形に注意し訓読のきまりに従って正確に内容を読み取る。 ・作者が清少納言をどのように語っているかを読み取らせる。 ・詩に込められた作者の思いを読み取る。
6月	古文：日記「同僚女房評（紫式部日記）」 漢詩：古体詩「兵車行（杜甫）」		
7月			
7月	古文：物語「紫の上の苦悩（源氏物語）」 漢文：随筆詩話「売油翁（埤田録）」	27	・登場人物の心情を読み取らせる。 ・語の構成や人物の心情にも目を向けさせる。 ・内容を理解し、思想家である韓非の考え方を学ばせる。
9月	古文：評論「もののはれを知る（石上私淑言）」 漢文：史伝「孫臏（史記）」		
10月	○2学期中間考査		
10月	古文：近世随筆「花（花月草紙）」	21	・重要古語の意味や助詞、助動詞の用法を理解させ、文の正確な読解力も養わせる。
11月	センター対策演習		
12月	○2学期期末考査		
12月	センター対策演習	27	
1月	○3学期中間考査		
1月	問題演習		
2月			
3月	○学年末考査		
計		105時間（55分授業）	

## 4 学習評価

	意欲・関心・態度	読む能力	知識・理解	表現する能力
評価の観点・規準	古典について理解や関心を持ち、これを読む力を積極的に高めようとしている。	古典に含まれる思想や感情などを的確にとらえ、自分自身の考えと比較しながら、そのを考察している。	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。	質問に対する適切な答えを、その理由も含めて表現できる。
評価方法	定期考査、課題テスト、授業内の小テスト、課題提出、ノート点検、授業への取り組みを総合して評価する。			

## 5 担当教員

国語科教諭

## 6 担当者からのメッセージ

- 数百年、数千年単位で現代にまで伝わっている古典の作品群には、現代の私たちが継承している、または失っているさまざまな生き方や考え方が書き記されています。文化遺産として継承するとともに、自分自身の生き方の参考書として活用して下さい。
- 古典の基本は音読です。すらすらと読めるようになるまで繰り返し声に出して本文を音読しましょう。
- 古文単語の意味を調べ、現代語訳を試みる（古文）、書き下し文に改めて文章を理解する（漢文）、などの予習をして授業に臨むことが大切です。授業を受けた効果が格段に上がります。
- 古文単語帳から小テストを実施します。語彙知識を増やすことで古文を深く読解できるようにするのが目的です。
- 古典の文章を現代語に直す過程の中で、現代語の語彙能力や表現力も高められます。